

事業所名 放課後デイゆりのき

公表日 令和7年1月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		その日の利用児に応じて、机や椅子の配置を変えて対応しています。個別対応できるように4つの部屋を使い分けるようにしています。おもちゃや物品を使いやすく配置するように心がけています。	限られたスペースを上手く活用できるようにしていきたいです。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			マンツーマンの対応が必要な児が多い時は、職員を多く配置します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		文字や絵を使って分かりやすく表示しています。バリアフリーとなっています。	文字や絵を使っでの表示を増やします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔を保ち、心地よく過ごせる環境にしています。活動に合わせて机の配置を変えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		カンファレンス時や、日々の業務の中で行っています。	もう少し職員間で話し合える時間を確保したいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		カンファレンス時に共有し、業務改善へ取り組んでいます。	もう少し職員間で話し合える時間を確保したいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の業務の中で会話より意見を吸い上げています。	もう少し職員間で話し合える時間を確保したいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法定研修はもちろん、積極的に外部研修の情報を集め、案内をし、参加を促しています。	外部研修へ参加する費用の助成、看護職員に対する発達や児童の理解に対する研修、児童指導員へは医療的ケア、身体介護についての研修をしていきたいと思っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和7年2月公表予定	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		児発管・児童指導員により、日々の様子や保護者とのモニタリングからニーズや課題を抽出し、個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		カンファレンスで個別ケースを検討する時間を設けています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		モニタリング記録を共有できるようにしています。業務日誌に記載するようにしています。	計画書を読み解く時間を設けていきたいと思っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の様子、行動などよく観察し、業務日誌やモニタリング記録等に残すようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域にはっきり分けることが難しい児が多いですが、具体的に支援内容を記載するなど動めています。	もう少し具体的に記載していきたいと思っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		療育活動の当番が立案するが、皆で話し合	障害特性に合った療育活動について、学習していきたいです。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		皆でとても工夫して取り組んでいます。みんなが楽しめる療育活動を考えるようにしています。	障害特性に合った療育活動について、学習していきたいです。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			平日の個別活動は宿題になりがち。時間も限られている為、当事業所では集団療育をメインに考えています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の児の様子を確認し、活動時の担当について話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動終了後に職員間で振り返りの会話はしています。気づいた点は情報共有するようにしています。	振り返りの時間を設けたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々は支援することに重きを置いています。記録はその日のうちに記入するようにしています。	記録を最優先にはできませんが、必ず残すようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		児の意見を聴き、自己選択や自己決定を促すようにしています。	「4つの基本活動」の理解を勧めたいと思います。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児の意見を聴き、自己選択や自己決定を促すようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			学校と連携できるようにしていきたいです。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			依頼があれば情報提供いたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		現状、三田市では自立支援協議会への参加はできない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に児の様子をお伝えしたり、お聞きするようにしています。	伝えあいやすい関係性の構築を目指しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、制度改定時に説明しています。	制度が複雑なので丁寧に説明しても理解は難しいと思います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		言語での意思表示が難しい児も多いが、日々の様子から本人の思いを汲み取るようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			もう少しゆっくり説明していきたいと思います。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		必要性を感じているが、事業で手一杯の状況です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		HPの更新やSNSの活用など積極的に取り組んでいきたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の方を招待するほどの行事は出来ていないです。地域の方に部屋貸しや地域の会議に参加するなど、地域に開かれた事業所です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			職員・保護者への周知が足りていないと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		体調の確認は必ずしています。てんかん等ある児は医療的ケア児となり、医師の指示書を提出していただきます。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーの児は昼食、おやつの持参をお願いしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			職員・保護者への周知が足りていないと思います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			職員・保護者への周知が足りていないと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例ファイルを作り、カンファレンスで検討し事故防止につなげています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			今は身体拘束を行う児はいません。